

16. センチュウ対抗植物による秋冬ダイコンのセンチュウ害軽減効果

福島県農業試験場野菜部・平成11年度春夏作試験成績概要

1 部門名 野菜－ダイコン－病虫害防除 03－18－23000000

2 担当者 服部 実

3 要 旨

ネグサレセンチュウによる秋冬ダイコンの被害軽減対策として、センチュウ対抗植物の導入効果を明らかにした。

(1) センチュウ対抗植物としては、エンバク野生種(ヘイオーツ)、ギニアグラス、マリーゴールド(アフリカ種)を用いた。エンバク野生種及びギニアグラスは散播、マリーゴールドは畝間60cm株間20cmに移植した。

(2) センチュウ対抗植物の作付跡地では、いずれもセンチュウ被害は軽減された。対抗植物別軽減程度は、エンバク野生種 $\leq$ ギニアグラス<マリーゴールドの順であった。

(3) 被害軽減効果や栽培労力等を考慮するとエンバク野生種やギニアグラスについてはセンチュウ密度の低い圃場での導入が、マリーゴールドについては被害程度が進んだ圃場での導入が適する。